

名古屋アイスロータリークラブ

RID2760 THE ROTARY CLUB OB NAGOYA IRIS

～ 世界へのプレゼントになろう Be a gift to the world ～
2015-16 年度国際ロータリー会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン

例会日:毎週水曜日 13:00～14:00

例会場:ANA クラウンプラザ グランコートホテル名古屋

創 立:2013 年 6 月 5 日

会 長:安井 忠 「楽しく・深く理解するアイリス」



- 斉唱 君が代、奉仕の理想
- 司会 安井 嗣博 会員
- 出席者報告 出席者数 27 名 / 会員数 37 名
出席率 73%
前々回(第 105 回)修正出席率は 75.7%(28/37)

■ 本日のゲスト・ビジター紹介

ゲスト

安藤敏博 様

ビジター

名古屋千種 RC 松岡 多加倫様

名古屋栄 RC 西田 充博 様

名古屋北 RC 名誉会員 水野 吉紹 様

名古屋北 RC 特別代表 浦野 三男 様

名古屋北 RC 須田 益市 様

■ 誕生日

10 月 8 日 島村 恵三 幹事

10 月 14 日 須賀 祐介 会員

■ ニコボックス報告

名古屋栄 RC 西田 充博 様

久しぶりにお邪魔しました。

名古屋北 RC 名誉会員 水野 吉紹 様

寺尾さんお世話になりました。

安井 忠 会長

10 月 2 日のガバナー公式訪問 北 RC、葵 RC、アイリス RC の 3 合同例会によりアイリスより 23 名出席して

いただき欠席者も無く皆様にお礼申し上げます。

島村 恵三 幹事

今月誕生日を迎えます。今年も無事迎えることが出来ました。有難うございます。

荒山 久美 直前会長

岩崎さんにいいお席を用意していただきコンサートを大変楽しむことが出来ました。有難うございました。寺尾さん、短い間でしたが大変お世話になりました。お元気でお過ごしください。

梅澤 真臣 会員

本日卓話をさせていただきます。宜しく願いいたします。

片桐 栄子 会員

先日、朔日参りに熱田神宮へ行き、おみくじを引きました。なんと大吉でした。何かいいことあるかしら？

ボルジド 会員

西田さんようこそアイスロータリーへ

■ 会長挨拶

今月は経済地域社会の発展の為の職業奉仕と米山記念奨学会事業を主とする米山月間であります。ロータリー米山記念奨学事業とはもう何度も米山梅吉さんのお話しを皆様は聞いて頂いていると思いますし御理解も頂いていると思います。

もう一度おさらいの意味を込めまして少々くどい様ですがお話しを申し上げます。

この米山奨学事業とは全国のロータリアンから寄

付金を財源として日本で学ぶ私費、外国人、留学生に奨学金を支給し支援する国際奨学事業です。

その歴史は50年以上前にさかのぼります。

平和を愛し青少年に手を差し伸べた日本のロータリーの父と言われています。米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として1952年東京ロータリークラブが始めました。お子様又はお知り合いの方がおられれば推薦を申請してもよろしいかと思いません。

このアイリスからも奨学生を出したいものです。そして一番ロータリークラブとして希望しているのが寄付金であります。

私達アイリスクラブは年会費から一会員5000円を自動的に寄付をしています。

この寄付金が10万円に達した時に米山功労者となる訳ですがアイリスは3年寄付をしましたので後17年経ちますと米山功労者となります。

個人で又は法人で10万円寄付して頂きますとクラブ計画書に米山記念奨学会の米山功労者としてお名前が載ります。

ちなみに今年のクラブ計画書には荒山さん三木さん安井の3名が功労者となっています。

この寄付金は個人ですと所得税法人ですと法人税の控除対象になりますので皆様ふるって御寄付の程よろしく願い申し上げます。

私達アイリスロータリークラブは地区ロータリー財団委員でもありVTT委員会でも活躍されています。

荒山委員がベトナムの奨学生を受け入れ2回程私達の夜間例会に出席して頂きましたが名古屋大学で勉強をされて見える大変マジメな女子学生さんです。

米山奨学金は経済的な支援だけでなくアイリスロータリークラブがお世話クラブとなり荒山さんにカウンセラーをお願いしました心の通った支援があります。

本来、奨学生は月に一度例会へ出席する義務が有りますが水曜日は名大の授業が有り昼間は出席出

来ないという事で荒山委員は勉強第一という事で夜間例会のみ出席をさせています。

そして荒山さんのカウンセラーとは個人的ケアにあたるアドバイザーでありまして大変気遣いのいる役目ですが米山奨学生とロータリアンの交流は相互理解のみならず

双方にとって財産となるもので荒山さんに大変御苦労をお掛けしている訳でありクラブとして御礼を申し上げます。しからば我がクラブからの受入れでは無く奨学生を出そうとするならば米山記念奨学会では【指定校学校推薦制度】によって奨学生の募集と選考を行っています。

地区の選考委員会が大学を指定して学内選考で選ばれた申込者を各地区の選考委員会が選考するシステムです。

指定校は8月中旬頃米山記念奨学会HPに掲載されていますのでもしその大学に行かれている又はお知り合いがお見えでしたら是非アイリスを通して挑戦して下さい。今では世界に類を見ない日本のロータリークラブ独自の多地区合同奉仕活動となっています。

年間米山奨学生は700人以上の外国人留学生を支援しこれまで支援した奨学生は約1万7千人世界121の国と地域を支援しています。

私達アイリスロータリークラブは3年目の活動に入りました。

今年度からようやく委員活動が活発になり委員長又副委員長が地区の会合やセミナーに出席して例会に報告をする様になりました。

会員一人一人がロータリークラブに対しての理解が出来て来たと思っています。

米山梅吉さんはロータリー奉仕はロータリアンを育てる会であり真心を持ってロータリー活動をしなけばならないと申しております。

ただ残念な事に出席100%がなかなか達成されません。

例会出席の義務と責任をもう少し理解させなければいけないと思っています。

長々と米山記念奨学のお話を致しましたが日本独特の米山であり皆様が納得の上御協力して頂きたいと思ひます。



■卓話

梅澤 真臣会員

『自己紹介と私の職業紹介』

本日、『自己紹介と私の職業について』お話をさせていただきます、東海東京証券の梅澤真臣です。よろしくお願ひ致します。

私はここにいらっしゃる多くの経営者の皆様方とは異なり、サラリーマンです。

証券会社の中間管理職の身ですから、本来私の業務、職業の観点から致しますと、ここにいらっしゃる皆様方はお客様または今後お取引を頂戴できる・か・も・し・れ・な・い・有力なお客様予備軍ということになります。もしかしたら既に当社のどちらかの営業部店でお取引を頂いている皆様もいらっしゃるかもしれません。いつも有難うございます。今後ともよろしくお願ひ致します。

最初に少しだけ当社、東海東京証券の紹介をさせていただきます。

当社は、2000年10月1日、当時の東海銀行系列の東海丸万証券を母体とし日興証券系列の東京証券が合併し誕生しました。お陰様で今年、合併15周年を迎えることが出来ました。有難うございま

す。当社は東海銀行系列の東海丸万証券が母体となっている証券会社ですので、マザーマーケットである愛知県内を中心に岐阜県・三重県・静岡県

の東海4県に約40店舗を構えています。うち愛知県内には30店舗ございます。北は札幌から、南は鹿児島まで、国内約70カ店。海外拠点もNY・LND等4拠点ございます。

地域密着をキーワードに当社全店舗の半数以上をマザーマーケットである名古屋市、愛知県を中心に東海地区で展開しています。因みに同業他社の東海地区の店舗数をご参考までにご紹介しますと、業界1位の野村証券さんで約16店舗、大和証券さんで約10店舗、三菱UFJMS証券さんで約9店舗です。いかに当社がこのマザーマーケットである愛知県、東海地区を大切に、大事にしているかが、当社の店舗展開一つを見てもお分り頂けるとお願ひします。今後も引続き、東海地区の、愛知県の、名古屋の東海東京証券であり続けたいと思ひています。

ここで当社の15周年に因みまして、1990年台後半から現在までの約20年間を簡単に振り返ってみたいと思ひます。1997年11月、三洋証券・北海道拓殖銀行が破綻、山一証券が自主廃業しました。翌98年10月には長銀、12月には日債銀が国有化され、2000年以降はネットバブルが崩壊し、2003年5月のりそな銀行の国有化で一旦収斂します。その後は、2008年9月に起こったリーマンショックはまだ記憶に新しいことと思ひます。この20年間、○●危機とか△■ショックとか名のつく大きな出来事は、数え上げたら枚挙に暇がありません。

金融不況の嵐が吹き荒ぶ、このような激動の時代を当社が何とか生き抜いて来られたのも、当社にとって本当に大切なマザーマーケットである愛知県をはじめとした東海地区の皆様方の支えがあればこそだと感謝致しております。

当社が今日あるのも皆様方のご支援、ご愛顧の賜物と心から感謝致しております。誠に、有難うご

ざいます。

どんな業種、業界でも同じだと思いますが、お客様第一主義に徹し、お客様から支持され信頼されることこそが、企業が生き残り成長していく唯一の道だと思っています。

当社は、大手5社・準大手3社、計8社の中で唯一名古屋市内に本社を置く証券会社です。

今後とも地域密着に徹し、皆様方と共に歩んで行きたいと思っています。

『15周年。感謝をかさねて、これからも。』

15周年を迎えられた当社の今年のキャッチフレーズです。全社一丸となって目標としているスローガンです。

『15周年。感謝をかさねて、これからも。』

今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

この辺で当社の紹介は終わらせていただき、自己紹介に移らせて頂きます。

私は、1963年6月13日、群馬県前橋市で生まれました。現在52歳です。

高校卒業までの18年間を群馬県で過ごし、その後、大学入学のため上京、1988年3月、法政大学経済学部を卒業し、同年4月1日（金）現在の東海東京証券、当時の東京証券に入社し28年間が経過しました。

サラリーマンの私は転勤族でもありまして、全国各地を転々としています。

転勤にも幾つかのパターンがあり、地方から地方に転勤を繰り返すパターンと地方から地方へ転勤する間に特定の経由地が入るパターンです。

私は、東京都、千葉県、大阪府、宮崎県、山口県、そして現在の愛知県名古屋市と6箇所の勤務地を経験しています。証券会社の社員にとっては、たかが6箇所ではありますが、私の転勤は先に紹介致しました後者のパターンでして、地方と地方の転勤の間に常に東京が入ります。従いまして、入社以来の勤務地は、東京都→千葉県→東京都→宮崎県→東京都→大阪府→東京都→山口県→東京都→愛知県（名古屋市）という具合です。実は出

張先を含めると仕事で47都道府県全てにお邪魔しています。

住めば都で、どこも本当に住みよい良い所でしたし、縁あって関わりをもたせて頂いた皆様は、本当に良い人達ばかりでした。証券会社にとってこの28年間は、本当に激動の28年間でした。良いときも悪いときもありましたが、いやこの28年間圧倒的に悪いときの方が長かったと思います。しかしながら、ご縁あって転勤し勤務したその土地、その土地でお世話になった方々と今もお付き合いをさせて頂いている幸運とご縁を、本当に有難く思っています。

ところで話は変わりますが、今まで経験した勤務地の中でも住み心地の良さの点では名古屋市は別格。最高です。今までお世話になった中で一番住みやすい所だと思います。名古屋市は、日本の三大都市のひとつですから、当然都会ですし都会的なものは何でもあります。またその反面、地方都市的な良さもあり、物価も東京ほどは高くなく、美味しいものもいっぱいあります。私、名古屋めし、大好きです。

本当に便利でよい所だと感じています。私の前任者が後ろ髪を引かれる思いで、泣く泣く東京に戻った理由が良く分かります。私は2年と言わず3年、4年と、可能な限り長くお世話になり続けたいと思っています。

次に私の故郷、群馬県のPRを少しだけ。

群馬県ってどこ？前橋って初めて聞いたという方もいらっしゃるかと思います。それも仕方のないこととして、群馬県・栃木県・茨城県の北関東3県は、ここものご当地人気・知名度ランキング等で常に47都道府県中、ワーストスリーの45位、46位、47位を争う常連の県です。関東地方というと、東京都は別にして、一般的にイメージするのは、おそらく神奈川県・千葉県・埼玉県の3県だと思います。多分これが全国的なスタンダードなのではないでしょうか。

群馬県生まれの私でさえ、昨今のご当地名物等

を紹介するテレビ番組を見ている、他県に誇れるような名物とか無いよなー。有名な景勝地とか無いもんなーと痛感します。

ただ全国的に知名度は低くても、草津温泉や伊香保温泉のような、いい温泉地は沢山ありますし、ゴルフ場やスキー場も沢山あります。また新鮮で美味しい野菜や食べ物も沢山あります。東京駅からは新幹線で約 50 分程の距離ですが、大いなる田舎です。群馬県人は人が良くて、優しいです。『かかあ天下とからっ風』の土地ですから、老若男女みんな性格は、さっぱりしています。その上、おせっかいなくらい面倒見もいい、そんな土地柄です。

決して便利なところでは無いですから、なかなか『是非に』とは、お勧めし難いのですが、機会があれば一度遊びに行ってみてください。楽しんで頂けると幸いです。よろしくお願い致します。

最後に、サラリーマン人生も残り 10 年弱となり、総仕上げのこの時期に、ご縁あって名古屋アイリスロータリークラブに入会させて頂き、こうして皆様方と出会えた、このご縁を大切にしていきたいと思っています。

『4 つのテスト』

言行はこれに照らしてから、

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

これからは常にこの『4 つのテスト』を自分自身の真ん中において、日々生活して行きたいと思っています。繰り返になりますが、ここにいらっしゃる皆様との「出会い」と「ご縁」を大切に、今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りながら、ロータリーの精神を学び、そして実践し、成長していけたらと考えています。

何卒、今後とも、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお

願い申し上げます。

甚だ簡単ではありますが、これで私の卓話とさせて頂きます。

ご清聴、有難うございました。

以上